

次の文を読み、あとの問いに答えなさい。

- A 貧富の差が広がり、共同体がムラからクニへ発展した
- B 打製石器①を使って狩猟を行い、移住生活を営んだ
- C 大陸から稲作②が伝わり、ムラをつくって集住するようになった
- D 支配者の墓として大きな古墳③が作られた
- E 縄目の文様の土器を作り、〔 ④ 〕をつくって定住した

- (1) A～Eを時代の古いものから順に並べなさい。
- (2) Aの時代に作られた、周囲に濠（ほり）を巡らし戦いに備えた集落の名称と、その日本最大級のものが発掘された佐賀県の遺跡名を答えなさい。
- (3) 下線部①が初めて発見された遺跡と所在地の都道府県名を答えなさい。
- (4) 下線部②について、当時の稲作で利用された道具・技術に当てはまらないものをすべて選び記号で答えなさい。
ア 田下駄 イ 唐箕 ウ 草木灰 エ 鉄製農具 オ 石包丁



- (5) Cの時代に作られた図1のような建物を何というか答えなさい。
- (6) 下線部③のうち、日本最大級といわれる世界遺産認定を受けた古墳の名称と、その形式を答えなさい。
- (7) 下線部③の周りに置かれた図2のような素焼きの土器を何というか答えなさい。
- (8) 〔 ④ 〕に当てはまる図3のような住居を何というか答えなさい。

(1)	
(2) 集落	(2) 遺跡名
(3) 遺跡名	(3) 都道府県
(4)	(5)
(6) 古墳名	(6) 形式
(7)	(8)

- (1) Aは弥生時代後期、Bは旧石器時代、Cは弥生時代初期、Dは古墳時代（弥生時代末期）、Eは縄文時代のことを記しています。
- (2) 濠をめぐらせ、戦いに備えた集落は「環濠集落」といい、佐賀県の吉野ヶ里遺跡が弥生時代の環濠集落遺跡としては最大級のものになります。
- (3) 日本では1万年以上前の人骨化石や石器が発見されず、旧石器時代はないものとされてきましたが、1949年に相沢忠洋が群馬県の岩宿で黒曜石のやじりを発見し、旧石器時代の存在が明らかになりました。
- (4) 唐箕は江戸時代から使われた籾殻やゴミを吹き飛ばす道具、草木灰は鎌倉時代から用いられた肥料、鉄製農具の普及も鎌倉時代以降です。
- (5) 湿気を防ぎ、ネズミや害虫から稲を守るために床を高くした高床倉庫です。
- (6) 世界遺産認定を受けた百舌鳥古墳群のうち、最大級のものが大山古墳（大阪府）で、前方後円墳の形状です。仁徳天皇陵と伝えられますが、正式な調査によるものではないため古墳名としては使えません。
- (7) 人や馬、あるいは円筒型をした素焼きの土器を埴輪といい、古墳に埋葬されました。
- (8) 地面に穴を掘り、柱を立てて屋根をかぶせた竪穴住居です。

(1) B → E → C → A → D	
(2) 集落 環濠集落	(2) 遺跡名 吉野ヶ里遺跡
(3) 遺跡名 岩宿遺跡	(3) 都道府県 群馬県
(4) イ・ウ・エ	(5) 高床倉庫
(6) 古墳名 大山古墳（大仙古墳）	(6) 形式 前方後円墳
(7) 埴輪	(8) 竪穴住居